やさいレポート（令和８年 11 月号）

だいこん

発行日：令和８年 11 月 10 日

１．卸売価格の動向

○101 円/kg（11 月７日）

- 平年比：116%

○11 月の価格見通し

平年を上回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

２．小売価格の動向

○249 円 /kg

（10 月９日全国平均）

- 前月比：106%、平年比：106%
- 東京：272 円（１本）
- 大阪：266 円（１本）

○特売店舗数／調査店舗数

- 東京：5/20（前月 5/20）
- 大阪：0/10（前月 1/10）

（機構調べ）

３．家計消費動向

○261g/人（９月全国平均）

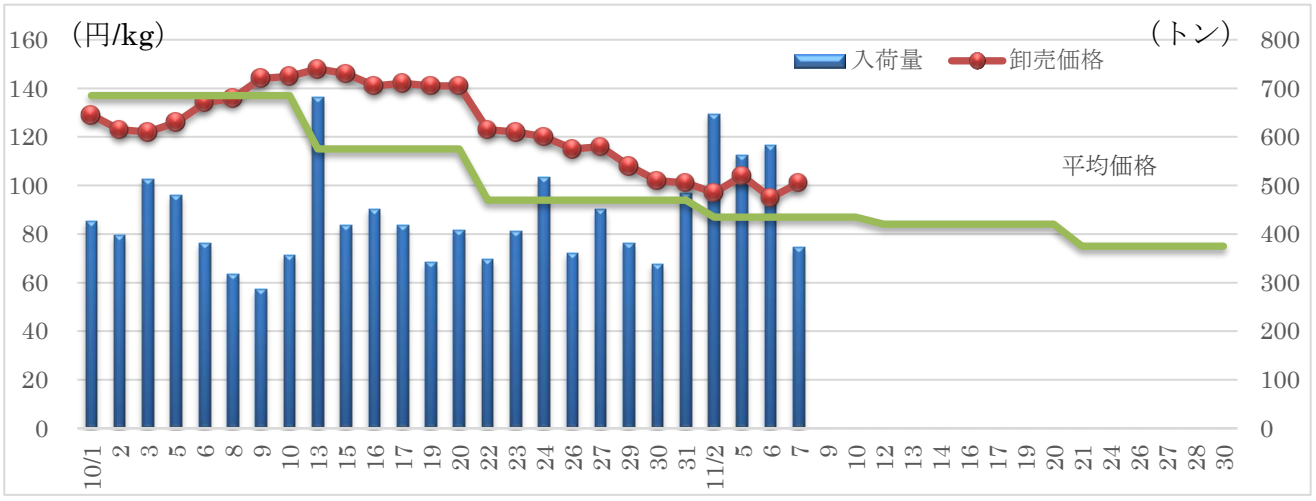
- 前月比：158%
- 前年同月比：108%

○3,417g/人（2025 年年間）

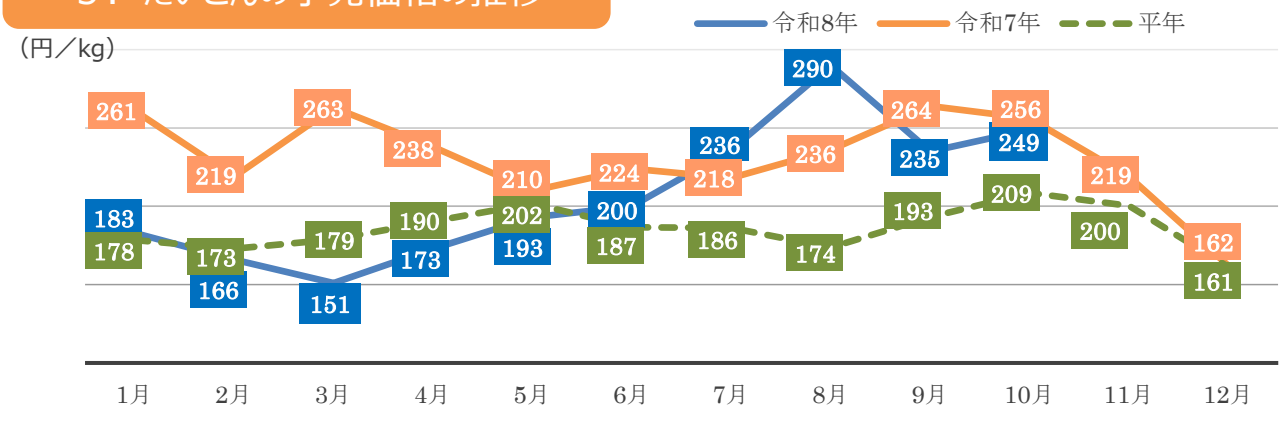
- 前年比：100%

（総務省統計局家計調査）

４．だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



５．だいこんの小売価格の推移



6．主産地の生育･出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県おいらせ（8/17）	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
石川県JA金沢市（10/5）	増加	平年並み	平年並み	平年並み
福井県坂井市（10/1）	前年並み	やや良	－	－
和歌山県和歌山（10/14）	増加	－	早い	－
徳島県里浦（10/16）	増加	平年並み	平年並み	－
福岡県JA福岡市（10/21）	前年並み	やや良～平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。　（機構調べ）



福岡県 JA 福岡市：圃場の様子

7．向こう１ヶ月の気象情報（11/7～12/4）

	週別の天候
11/7～11/13	北日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
11/14～11/20	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
11/21～12/4	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

		平均気温（１か月）	降水量（１か月）	日照時間（１か月）
北日本	日本海側	低30 並50 高20% **平年並**の見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並30 多40% **ほぼ平年並**の見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% **平年並か多い**見込み	少40 並40 多20% **平年並か少ない**見込み

（気象庁１カ月予報）

8．輸入動向（生鮮その他根菜類）※にんじん･かぶ･ごぼうは除く

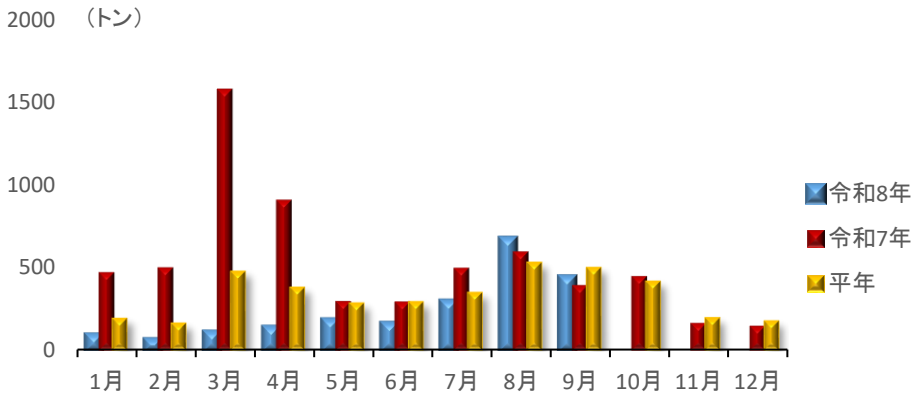
○434 トン（9 月輸入量）

- 前年同月比：113%

○輸入先国ベスト３

1 位　中国　413 トン
2 位　オランダ　11 トン
3 位　ニュージーランド　5 トン

（財務省貿易統計）



9．一口メモ

10 月は、北海道･青森県産主体の入荷となり、後半から千葉県産の入荷が始まった。上旬は出荷順調で平年並みとなった価格も、中旬以降は、千葉県産が長雨･日照不足で生育遅延や湿害の発生から出荷量が少なくなったことから、平年を２割上回った。

11 月は北海道･青森県産の出荷が減少し、千葉県･神奈川県産中心の出荷に切り替わる。千葉県･神奈川県産は 9 月の長雨や台風により播種ができなかった圃場もあり、また、生育遅れなども発生していることから、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。
ベジ探：https://vegetan.alic.go.jp/

農畜産業振興機構
野菜業務部　管理業務課